

(お知らせ)

2004年2月3日

日本電信電話株式会社

「オープン・ソース・デベロップメント・ラボ」への加盟について ～通信事業者向けITシステムにおけるオープンソース適用を目指して～

日本電信電話株式会社（以下 NTT、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：和田紀夫）は、エンタープライズ・コンピューティングにおいてLinuxの採用加速に取り組む、業界リーダー企業から構成されるグローバルコンソーシアムである「オープン・ソース・デベロップメント・ラボ（Open Source Development Lab、以下：OSDL）」に本日、加盟致しました。

<加盟の目的>

NTT研究所は、今後オープンソースを積極的に活用し、企業の基幹となるシステムへの適用に向けて、Linux等のOSやデータベース・マネジメントシステム（DBMS）等のミドルウェアの高信頼化、高機能化に注力して取り組んでいきます。

NTT研究所は、これらの取組みの第一歩として、Linuxの信頼性および拡張性向上に向けた技術仕様策定を実施しているOSDLに加盟し、オープンソースを通信事業者向けのITシステムに適用するために必要となる様々な課題解決に取り組むOSDLのプロジェクトへの支援を実施していきます。プロジェクト支援にあたっては、NTT研究所がこれまで培ってきたITシステム構築のノウハウを活かし、OSDLが取り組む技術仕様策定に積極的に貢献していきます。

<今後の取り組み>

OSDLのプロジェクト支援を通じて、オープンソースを用いたITシステムの実現に向けた研究開発を推進することにより、情報流通社会の更なる発展に貢献していきます。

***1 オープン・ソース・デベロップメント・ラボ**

OSDLは、Linuxの成長とエンタープライズでのLinux採用を促進することを目的として2000年に設立された非営利団体で、Linux開発者であるLinus

Torvaldsが所属しています。

(参考URL <http://www.osdl.org/> (英語) <http://www.osdl.jp/> (日本語))

*2 LinuxはLinus Torvalds氏の商標です。

〔問い合わせ先〕
日本電信電話株式会社
サイバーコミュニケーション総合研究所
広報担当 定方・山下
TEL : 046-859-2032
e-mail : ckoho@lab.ntt.co.jp

NTT ニュースリリース 

Copyright(c) 2004 日本電信電話株式会社